



平成30年11月15日

担当課	こども科学館
担当者	津村・前川
電話	073-432-0002
内線	

## 「現プラネタリウム(MS-10型)お別れ投影」について

こども科学館は、昭和56年(1981年)に開館して以来、多くの皆様に親しまれてきました。中でもプラネタリウムは、県内で唯一常設されているもので、開館以来37年間にわたり99万8200人の方々にご覧いただきました。(平成30年11月14日現在)

当館で使用している投影機は、コニカミノルタプラネタリウム製のMS10型投影機で、肉眼で見える約6,000個の恒星を投影でき、昭和41年(1966年)から平成12年(2000年)にかけて日本国内に41台が設置されました。中でも当館で使用しているMS10型投影機は、コンピュータで自動制御できるMS10型としては最初の機械です。

長年親しまれてきたMS10型投影機によるプラネタリウムですが、制御機器等の老朽化に伴い新型投影機にリニューアルするため、平成30年12月3日から休演します。

したがって、現在のMS10型投影機によるプラネタリウムは、12月2日までとなります。この機会に、長年にわたり市民に親しまれたMS10型投影機が映すプラネタリウムの星空を再度ご覧いただきながら晩秋の星空を解説するとともに、これまでのMS10型投影機にかかわる歴史をご紹介します特別投影「現プラネタリウム(MS10型)お別れ投影」を次のとおり行います。

なお、12月2日のお別れ投影にお越しになれない方は、それまでの通常投影でもMS10型投影機が映す星空をご覧いただけます。

### ○お別れ投影

日時 平成30年12月2日(日) 16:30から約40分

定員 120人(申込不要、先着)

なお、観覧希望者多数の場合は、随時整理券を発行します。

料金 こども科学館入館料(高校生以上300円、小中学生150円、幼児は無料)

### ○12月2日までの通常投影

投影時刻 平日は11:00、14:00、  
15:30から約45分間の  
投影です。

土日祝日は13:00の投影  
も行います。

料金 入館料とも高校生以上600円、  
小中学生300円、幼児無料

休館日 月曜日

